



Project 17 Radio

<ラジオ番組>
12月14日～26日放送
Flamboyant Radio

ラジオで発信！ アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト

リスナーとやり取りをしながらアートプロジェクトを紹介。日本からの素敵な景品が当たるクイズコーナーでもあるよ！



Project 18 YouTube

<YouTube>
詳しくはウェブで！
(アカウント：「Aceh-Japan Community Art Project」)

アチェ＝ジャパン・チャンネル

YouTube 番組「アチェ＝ジャパン・チャンネル」は、即興でアチェと日本の間を Skype でつなぎます。日本語教師のハナフィさんと日本のアーティスト門脇篤がアチェや日本についてあれこれ紹介していきます。もし門脇のインドネシア語が上達したら、インドネシア語で番組をやるかも！？

http://www.taiwa.or.jp/aceh-japan/



Aceh-Japan Community Art Project 2018



Aceh-Japan Community Art Project 2018

自分たちのアートをさがして 2年目となるアート・プロジェクト

2004 年のスマトラ沖地震の被災地、インドネシアのアチェと 2011 年東日本大震災の被災地、東北。2013 年から私たち特定非営利活動法人地球対話ラボはこの両地域を結ぶ「インドネシア・アチェと東北の被災地間交流プロジェクト」を行なってきました。2017 年からは、「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト」というかたちへと発展。アチェに設立されたアチェ・コミュニティアート・コンソーシアムとともに協働して事業を行なっています。日本におけるコミュニティアートの取り組みの紹介やその実践として日本人アーティストらによるプロジェクトを中心に行われた

昨年第一回に対し、2 年目となる今回はディレクター制をとらず、企画を一般から公募。アチェを中心にマレーシアや日本の 17 企画が、12 月 26 日の「津波の日」までの 11 日間にわたって行われます。「アート」と言うと、絵画や彫刻をまっさきに思い浮かべるかもしれませんが。しかしここで行われるのはもっと広い意味での創造的活動のことで、そこではアートの知識やスキルのあるなし、あるいはアートに興味があるなしは問題とされません。さまざまな手法と情熱をもって、両国の歴史や課題、未来が浮き彫りになっていくようなスリリングな企画があなたを待っています。

主催団体紹介

NPO 法人地球対話ラボ

「地球対話」は、インターネットテレビ電話などを使って、地球上で遠く離れた国や地域など、日常生活では出会うことが難しい人びとの間をつないで行う、同時・双方向・対面のコミュニケーション。そこには、お互いの顔を見て／見られて、声や表情が作用し合う場が生まれます。相手のことばに驚いたり、一緒に笑ったり、その実感や経験から、自分が変わり、相手との関係が変わり、やがて世界が変わる、そんな交流を目指しています。

活動開始は 2002 年の「アフガン対話プロジェクト」。衛星電話とテレビ電話を使って、戦争で荒廃したアフガニスタンの首都カブールと日本の、高校生同士の対話を実施。その後もマスメディアが伝えない場所へ、発信する機会のない人々へと、対話を模索し、2003 年にイラク開戦直前のフセイン政権下で高校生と、2005 年には再びアフガニスタンの高校生との対話が実現しました。その間に、インターネットや通信機器の進化、SNS や映像配信サービスの登場など、「対話」をめぐる環境は大きく変わりました。そこで 2010 年、新しい「対話」のあり方を模索しながら、地球上のあちこちへ対話による出会いとつながりを広げて行こうと、地球対話ラボを設立。2010 年 5 月、NPO 法人の認証を受けました。

アチェ・コミュニティアート・コンソーシアム

コミュニティアートの手法を用いて震災を伝える活動を行っていくため、アチェのアーティストやジャーナリスト、教育関係者、学生など多様なメンバーにより 2017 年 7 月、バンダアチェで設立。「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト」の企画・運営や、これを通じた人材育成、国際交流などを行っています。2018 年 7 月、バンダアチェ市内に国際交流拠点「サクラハウス」をオープン。



主催：特定非営利活動法人地球対話ラボ、アチェ・コミュニティアート・コンソーシアム
 助成：国際交流基金アジアセンター、トヨタ財団、YS 市庭コミュニティ財団
 協力：アチェ州政府観光局、バンダアチェ市政府観光、KSA、TPMT、バンダアチェ市第 31 小学校、ランピラ小学校、東松島市立宮野森小学校、宮戸市民センター、ハミルガオアンパサダー、いわき市立四倉小学校、登米市立北方小学校、ひまわり会、コミュニティアート・ふなばし、こどもみらい研究所、アート・インクルージョン、MMIX Lab、まちとアート研究所

Aceh-Japan Community Art Project 2018



Project01 ワークショップ

<ワークショップ、展示>
①12月22日、アチェ津波博物館
②12月23日、PLTD Apung
③12月25日、アチェ津波博物館

安心安全のアチェ

このプロジェクトは、Kampung Dongeng、Doodle Art Aceh、Cahaya Bintang Kecil とのコラボレーションによって、語られることのなかったアチェの内戦と津波をドゥードルアート、14 メートルのキャンバス、ショートストーリー、ジオラマによって表現していきます。



Project02 ワークショップ

<ワークショップ>
12月16日、ネルマラ孤児院
<展覧会>
12月17～26日、アチェ津波博物館

おしるこドリームアートプロジェクト

あき缶、あきピンに絵を描くワークショップ形式のソーシャルプロジェクトです。制作後はこどもたちとおしるこを食べ、折り紙に将来の夢を描き、紙ヒコキを折ります。



Project03 ワークショップ

<ワークショップ、展示>
12月16～26日
アチェ津波博物館

生態学的アプローチによる家具デザイン

このプロジェクトでは、生態学的アプローチに基づいた家具デザインを行うためのワークショップを体験します。自然にあるものから何を使うかを決め、アイデアを出し、模型を作ります。



Project04 ワークショップ

<ワークショップ、展示>
12月16日～26日
アチェ津波博物館

てるてる坊主のホワイトコーナー

日本のてるてる坊主を作って展示する展覧会。その歴史、写真や絵、手作りのてるてる坊主を展示します。来場者も自分でてるてる坊主を作ることができます。



Project05 ワークショップ

<ワークショップ>
12月16日・22日・23日
アチェ津波・物館

アチェと日本の伝統衣装ギャラリー

アチェとガヨ、そして日本の伝統衣装をご用意。これにアチェ、ガヨ、日本の伝統柄をミックスしたスペシャルコスチュームが加わります。男女どちらでも OK。衣装を着た写真をインスタにアップして賞品をゲットしよう。ハッシュタグを忘れずにね！
#AcehJapanCommunityArtProject



Project06 ワークショップ

<ワークショップ>12月1日・2日
<展示>12月3日～26日
いずれも会場は Sakura House
(Jl. Sultan Alaidin Johansyah,
Lam Lagang, Banda Raya)

アートのじかん

線を描いたり色を塗ったり、絵を描くためのレッスンです



Project07 ワークショップ

<ワークショップ>
①9月17日 (31小と北方小)
②11月27日 (ランピラ小と宮野森小)
③2019年1月 (31小と四倉小)
<展示>
12月16日～26日
アチェ津波博物館

アチェと東北のこどもたちによる地球対話

アチェと東北のこどもたちがインターネットを通してお互いのことを知るために話したり、質問したりこたえたりする「地球対話」をします。どんなことがおこるかわからない！



Project08 展覧会

<展示と上映>
12月16日～26日
アチェ津波博物館

アート・インクルージョン展アチェ

日本の障がいをもった表現者約30人の作品展。「アートインクルージョン」は日本でのあらゆる違いをこえたアートの取り組みです。



Project09 映像上映

<映像上映>
12月16日～26日
アチェ津波博物館

Film dokumenter tentang saksi hidup Kapal Diatas Rumah

船に助けられた津波からの生還者についてのドキュメンタリー制作と上映



Project10 映像上映

<中間報告映像上映>
12月16日～26日
アチェ津波博物館

私の祖父はインドネシアに残ることに決めた

第二次世界大戦でインドネシアに出兵し、戦後もムラボーに残った旧日本軍兵士イシカワノブミツ氏とその子孫の歴史から見た日本とインドネシアについてのドキュメンタリー



Project11 映像上映

<映像上映>
12月16日～26日
アチェ津波博物館

ラムノー

ラムノーは一大観光地。特にグルテ山とそのまわりの島は見事です。ほとんどの来訪者は自然を楽しむために訪れており、いまだ多くの被災した建物が残っていることは知られていません。震災遺構と観光の要素を組み合わせることで、このビデオは人々に震災を思い出させるでしょう。一方でこのプロジェクトはバンダアチェとともにラムノーを被災ツーリズムの訪問地として紹介する方法のひとつを提示することでしょう。



Project12 イベント

<オープニングステージ>
12月16日 14:00-15:00
アチェ津波博物館

アチェと日本のかけ橋

アチェと日本の交流の中から生まれてきた10曲を収録したCDをリリースします。また、「Aceh-Japan Community Art Project 2018」のオープニングステージを開催します。



Project13 イベント

<日程、会場>
未定、ウェブでご確認ください

コミュニティアート映像祭 in アチェ

撮った人の顔が見える映画祭。上映したい作品をお送りください。いっしょにみんなで見ましょう。送り先: iom info@kadowakiart.com.



Project14 イベント

<イベント>12月9日
Pesantren Bulis, ムラボー
<報告上映>12月16日～26日
アチェ津波博物館

アチェと日本のクロスカルチャー

アチェと日本双方の文化芸術や環境について理解を深める文化交流。ラト・ジャロとソーラン節を披露するとともに、ムラボーのこどもたちと空き缶ゴミ箱アートコンペを行う。



Project15 イベント

<ワルン営業>
10:30-9:00
11月19日～12月26日
サクラハウス
(Jl. Sultan Alaidin Johansyah,
Lam Lagang, Banda Raya)

ノラの夢のレストラン

レストランを開くことを夢見るアチェの料理専攻の大学生ノラが、オリジナルのワルン「ワルンカバル」で開く夢のレストラン。
メニュー：テリヤキチキン、リチャリチャチキン、アチェ＝ジャパン・オーシャンスクワッシュ、モチアイスほか



Project16 ツアー

<アートツアー>
12月22日・23日
バンダアチェ市内

ラビラビアートツアー 2018

「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト 2018」の各会場をめぐるツアー。楽しくいっしょにめぐりましょう。お互いから何かを学べると思いますよ！